

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	宮崎 元良
全体計画						経費区分	—			内線	3254	
事務事業名		4132 し尿処理施設運営事業										
所 属		140100 環境部・生活環境課										
施 策		03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費								
事 業		事 業		080000 し尿処理施設運営事業								
事業目的						事業概要・効果						
須高行政事務組合で運営するし尿処理施設（須高衛生センター）の維持管理費用を負担する。 （運営主体：須高行政事務組合）						前処理・希釈下水道放流施設の効率的な運用を図りつつ、計画的に機器整備をして機能維持を図る。機器設備の保守管理、受入し尿等の性状に対応した下水道放流基準を満たす希釈量の管理をする。 （運営主体：須高行政事務組合）						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理された。	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		64,696	72,510
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	135	192
一般財源		64,561	72,318
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		1.2	1.4
総額		64,696.0	72,510.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	64,696	須高行政事務組合清掃負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	72,510	須高行政事務組合清掃負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	し尿及び浄化槽汚泥処理については市民が安心して生活していくうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	下水道普及による収集量減少に伴い、将来的な施設運営について検討が必要。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	下水道普及による収集量減少に伴い、将来的な施設運営について検討が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

し尿及び浄化槽汚泥処理について、公共下水道放流方式により、適正に処理された。
し尿等の処理方法変更に伴い休止していた焼却設備等を整備した防災施設について、備蓄倉庫として活用した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設管理委託については28年度から民間委託したので、適切に管理が行われているか業務実績等を確認する。料金改定については据え置くこととしたので、次回改定をどうするのか構成市町村と引き続き検討していく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
下水道接続率の向上に伴い、年々収集量は減少して来ているが、これまでに希釈後し尿の下水道直接投入、管理業務の民間委託等を実施し効率化を図って来た。今なお、市民生活にとって必要不可欠な事業であり、継続が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	